

各 位

山と溪谷社

An impress Group Company

2018年3月13日  
株式会社 山と溪谷社  
<http://www.yamakei.co.jp/>

あなたの人生の悩みに、いきものたちが答えます！  
『いきもの人生相談室 動物たちに学ぶ47の行き方哲学』発売

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：川崎深雪）は『[いきもの人生相談室 動物たちに学ぶ47の行き方哲学](#)』を2018年3月12日に刊行いたしました。

すべての人間の悩みに答え、ヒトの心を軽くしてくれます。

なぜ、人間はこうも悩むのか？ 現代社会よりはるかに厳しい野生の世界で生きるいきものたちが、自身の生態や進化を元にずばりアドバイスします。累計100万部突破の『さんねんいきもの事典』（高橋書店）で話題の今泉忠明先生監修の渾身の一冊です。

Q. 人に流されず、自分らしく生きるにはどうしたらいいですか？（17歳／男性）

そんな悩みに答えてくれるのは「ラッコ」さん。

A. 自力で流れに逆らえないなら何かに頼ってもいいんです。

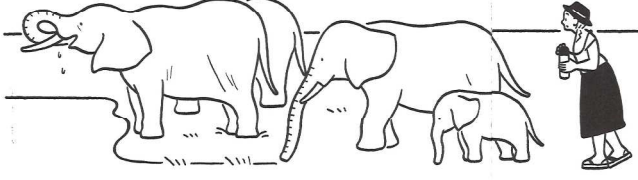
海の上で、海流に流されないようにコンブに巻き付いて寝るラッコが、自分をつなぎ留めてくれるコンブ的ななにかをもつことをお勧めしています。



そのほか、人生の悩みを「生活のお悩み」「夫婦・子育てなど家族のお悩み」「仕事のお悩み」「恋愛のお悩み」「学校のお悩み」の5つのカテゴリーにわけ、「貯金ができない」「子どもがスマホ中毒」「老後が不安」「夫婦の倦怠期」など、あらゆる人たちの悩みに動物たちがお答えします！

答えてくれる動物はオオアライクイやカピバラ、ハシビロコウ、コウテイペンギン、クロオオアリなど、47種類の個性豊かな面々です。彼らの珍&名回答のなかに明日を生き抜くヒントがあるはずです。

巻末にはそんな動物たちの写真図鑑も掲載しています。野生に生きる本当の彼らの姿もご覧下さい。



**Q** 40歳を過ぎててもいまだに独身で老後のおひとりさま生活が怖いです。

(43歳/女性)

**A** 人生で培った知恵と経験があれば仲間に慕われ、老後にもぎやかです。

回答者：年功序列のアフリカゾウさん

群れのリーダーは、おばあ。楽しい老後は年の功あってこそ。

ひとりぼっちの老後……ぞっとしますね。私たちの寿命は60年ほど。普段は群れで暮らしていますが、メンバーはおばあちゃん(私)と娘、孫たち。男は大人になると群れを出て行くので、女ばかりの集団ですね。「夫がいなくても家族がいるからいいじゃない」と思いますが? でも野生動物の場合、狩りができない老人は群れから追い出されたり、誰の助けも得られず孤独に死んだりするのがほとんど。そんななか、アフリカゾウの群れは最年長のおばあがリーダー。

一。長年の経験から水や獲物が得られる場所へ群れを導き、危険が迫ったときはあまたの修羅場をくぐってきた知恵で群れを守ります。だから少々体が衰えていてもみんなに頼られ、大切にされるんです。たとえ家族がいなくても、周囲の人を助けたり、知恵を分けたりしていれば、必ず人から必要とされます。そのためには若いころから多様な経験をい、知恵を蓄積することが大切。いろいろなことに挑戦して、みんなから頼られる素敵なおばあになってください。

回答者プロフィール

名前	アフリカゾウ
住んでいる場所	サハラ砂漠より南のアフリカ
体長	5.4~7.5m
体重	3~6t
好きな食べ物	木の葉 木の枝 果実
苦手なもの	ライオン ハイエナ 人間(密猟者)



**Q** 人に流されず、自分らしく生きるにはどうしたらいいですか?

(17歳/男性)

**A** 自力で流れに逆らえないなら何かに頼ってもいいんです。

回答者：流されない漂流生活。ラッコさん

流されそうな自分……。つなぎ留めてくれるものを探そう!

「みんなが右なら右へならえ」。これは日本人の悪いクセですね。でも流されない生き方というのは強い信念が必要ですから、難しいものです。ラッコは海の上に浮いて暮らしています。眠るときもそうですから、熟睡すると潮に流されて、群れと離れてしまいます。そこで頼み出したのが海底から生えているコンブを体に巻きつけて寝る技。自力では抗えない流れのなかでもこれなら大丈夫です! まだ高校生のあなたは自力で流れに逆らう力をもつのは大変でしょう。

なので、ここはひとつコンブ的な何かを見つけてみては? たとえばマンガでも映画でも、「こうなりたい」という理想像を見つければ、流行に左右されにくくなります。スポーツや音楽など、興味のあることを本格的に習ったり、勇気を出して留学してみるという手も。学校というのは振り所のない大海原のようなもの。自分をつなぎ留めてくれるコンブ的なものを半ば無理やりにも見つければ、知らない場所へどんどん流されていくことはないんじゃないかな。

回答者プロフィール

名前	ラッコ
住んでいる場所	北太平洋
体長	1~1.5m
体重	21~26kg
好きな食べ物	貝 ウニ 甲殻類 魚
苦手なもの	シャチ サメ

<著者プロフィール>

監修=今泉忠明 (いまいずみ・ただあき)

1944年、東京都生まれ。哺乳類動物学者。東京水産大学(現・東京海洋大学)卒業。国立科学博物館で哺乳類の分類学・生態学を学び、環境庁(現・環境省)のイリオモテヤマネコの生態調査などに参加する。上野動物園で動物解説員を務め、静岡県にある「ねこの博物館」館長。おもな著書に『小さき生物たちの大いなる新技術』(ベストセラーズ)など。

文＝小林百合子（こばやし・ゆりこ）

1980年、兵庫県生まれ。編集者。早稲田大学卒業後、テレビ番組制作会社にて野生動物のドキュメンタリー番組制作に携わる。その後、出版社勤務を経て編集者として独立。自然・生物・山岳の分野を中心に雑誌や書籍の編集を手がける。おもな著書に『山と山小屋』（平凡社）、共著に『一生ものの、山道具』『山登りのいろは』（ともにパイ・インターナショナル）など。

絵＝小幡彩貴（おばた・さき）

1986年、山梨県出身。桑沢デザイン研究所総合デザイン科卒業。グラフィックデザイナーとしてデザイン会社に勤務後、独立。イラストレーターとして雑誌イラスト、書籍装丁画などを多く手がける。おもな作品に絵本小説『はやく老人になりたいと彼女はいう』（文藝春秋）など。

### <書籍仕様>

『いきもの人生相談室 動物たちに学ぶ47の行き方哲学』

監修：今泉忠明

文：小林百合子

絵：小幡彩貴

判型：四六判 144頁（2色138ページ／4色16ページ）

定価：本体1,200円＋税

ISBN：978-4-635-55017-8

<http://www.yamakei.co.jp/products/2817550170.html>

【山と溪谷社】 <http://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心に、国内外で山岳・自然科学・アウトドア等の分野で出版活動を展開。さらに、自然、環境、エコロジー、ライフスタイルの分野で多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>



株式会社インプレスホールディングス(本社：東京都千代田区、代表取締役：唐島夏生、証券コード：東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ＋サービスを提供するメディア事業を展開しています。2017年4月1日に創設25周年を迎えました。

以上

---

【本リリースについてのお問い合わせ先】

株式会社山と溪谷社 担当：神谷

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1911 メール：[info@yamakei.co.jp](mailto:info@yamakei.co.jp)